



転送不要

SAMPLE

SAMPLE

最後に **胃がん検診** を 受けたのは、 何年前ですか？

安心のために、2年に1度は胃がん検診

SAMPLE

〇〇市 福祉保健部 健康推進課

SAMPLE
胃がんが見つかっても、
早期なら、胃を取らずに
内視鏡でがん細胞だけ
はぎ取れます。



術後の生活も
今までと
変わりません。



出典：国立がん研究センター がん情報サービス
このがきは、がん検診受診率向上く希望の虹プロジェクト>が作成しました。

胃がん検診の流れ

1. 受診場所・受診日を選ぶ

市ホームページに掲載されている
医療機関リストからお選びください。

詳しくは

もしくは、〇〇市にお電話ください。

TEL: 000-0000-0000

2. 実施医療機関に直接予約する

3. 受診する

自己負担金0,000円を支払い受診してください。

■ 受診内容 ・問診 ・バリウムによるX線検査

4. 結果*

約2～3週間後に自宅に郵送されます。
検査結果を確認してください。

* 検診は自治体と、各医療機関が連携して行っています。精密検査の結果は関係機関で共有され、市区町村へと報告されます。また、最初に受診した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受けた場合は最初に受診した医療機関にも後日、精密検査結果が共有されます。(医療機関の検診精度向上のため)



今年度は、〇〇市より

0,000円の助成*があります。

胃がん検診は助成がない場合5,000円程度かかりますが、市から助成が出るため、自己負担0,000円で受診できます。

■対象者：〇〇市在住の50歳以上の方

■受診期間：令和〇〇年〇月〇日～
令和〇〇年〇月〇日まで

例年、受診期限が近付くと大変混みます。お早めにご予約・ご受診ください。

検査費用	約0,000円
- 助成金	約0,000円
自己負担金	0,000円

*現金が支給されるわけではありません。

お問い合わせ先

〇〇市 健康福祉部 〇〇〇〇課
〒000-0000 〇〇〇〇〇〇〇〇-00-0
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000

胃がん検診は、
バリウムによるX線検査です。
10分ちょっとで終わります。*1



今どきのバリウムは
たったこれだけですよ



(150～200ml程度)

検診で「要精密検査」となった場合は
その後必ず精密検査を受けてください。
精密検査は胃内視鏡検査です。

*1 検診では、がんでないのに「要精密検査」と判定される場合や、がんがあるのに見つからない場合もあります。
胃内視鏡検査については、左頁のお問い合わせ先におたずねください。

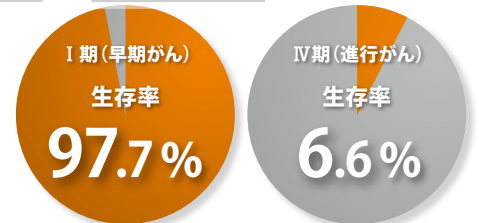
胃がんはわが国では50歳代以降に
罹患する人が多く、がんによる死亡原因の
上位に位置するがんです。*2

早期の胃がんは、
ご自分ではまず気づきません。

胃がんは“なりやすい”がんですが、
“治しやすい”がんでもあります。

早期に見つければ、95%以上治ります。*3
検診は2年に1度、定期的に受けてください。

ただし、胃の痛み、不快感、食欲不振、食事がつかえるなどの
症状がある場合は、次の検診を待たずに医療機関を受診してください。



*2 胃は、がん罹患した人が2番目に多い部位です。(2018年男女計)
出典：国立がん研究センター がん情報サービス「最新がん統計」(全国がん登録)
*3 ここでいう「治る(=治癒)」とは、診断時からの5年相対生存率です。相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数値です。出典：全がん協加盟施設における5年生存率(2010～2012年診断例)



転送不要

SAMPLE

SAMPLE

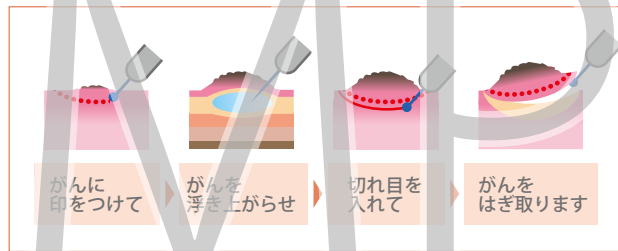
最後に **胃がん検診** を 受けたのは、 何年前ですか？

安心のために、毎年 **胃がん検診**

SAMPLE

〇〇市 福祉保健部 健康推進課

SAMPLE
胃がんが見つかっても、
早期なら、胃を取らずに
内視鏡でがん細胞だけ
はぎ取れます。



術後の生活も
今までと
変わりません。



出典：国立がん研究センター がん情報サービス

このがきは、がん検診受診率向上く希望の虹プロジェクト>が作成しました。

胃がん検診の流れ

1. 受診場所・受診日を選ぶ

市ホームページに掲載されている
医療機関リストからお選びください。

詳しくは

もしくは、〇〇市にお電話ください。

TEL: 000-0000-0000

2. 実施医療機関に直接予約する

3. 受診する

自己負担金0,000円を支払い受診してください。

■ 受診内容 ・問診 ・バリウムによるX線検査

4. 結果*

約2～3週間後に自宅に郵送されます。
検査結果を確認してください。

* 検診は自治体と、各医療機関が連携して行っています。精密検査の結果は関係機関で共有され、市区町村へと報告されます。また、最初に受診した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受けた場合は最初に受診した医療機関にも後日、精密検査結果が共有されます。(医療機関の検診精度向上のため)

OPEN

今年度は、〇〇市より

0,000円の助成*があります。

胃がん検診は助成がない場合5,000円程度かかりますが、市から助成が出るため、自己負担0,000円で受診できます。

■対象者：〇〇市在住の50歳以上の方

■受診期間：令和〇〇年〇月〇日～
令和〇〇年〇月〇日まで

例年、受診期限が近付くと大変混みます。お早めにご予約・ご受診ください。

検査費用	約0,000円
- 助成金	約0,000円
自己負担金	0,000円

*現金が支給されるわけではありません。

お問い合わせ先

〇〇市 健康福祉部 〇〇〇〇課
〒000-0000 〇〇〇〇〇〇〇〇-00-0
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000

胃がん検診は、
バリウムによるX線検査です。
10分ちょっとで終わります。*



今どきのバリウムは
たったこれだけですよ



検診で「要精密検査」となった場合は
その後必ず精密検査を受けてください。
精密検査は胃内視鏡検査です。

*1 検診では、がんでないのに「要精密検査」と判定される場合や、がんがあるのに見つからない場合もあります。
胃内視鏡検査については、左頁のお問い合わせ先におたずねください。

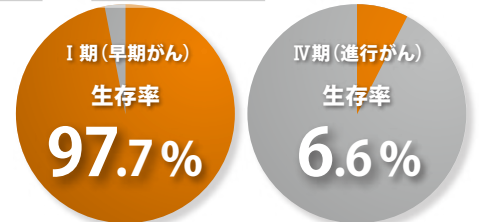
胃がんはわが国では50歳代以降に
罹患する人が多く、がんによる死亡原因の
上位に位置するがんです。*

早期の胃がんは、
ご自分ではまず気づきません。

胃がんは“なりやすい”がんですが、
“治しやすい”がんでもあります。

早期に見つければ、95%以上治ります。
検診は毎年、定期的に受けてください。

ただし、胃の痛み、不快感、食欲不振、食事がつかえるなどの
症状がある場合は、次の検診を待たずに医療機関を受診してください。



*2 胃は、がん罹患した人が2番目に多い部位です。(2018年男女計)
出典：国立がん研究センター がん情報サービス「最新がん統計」(全国がん登録)

*3 ここでいう「治る(=治癒)」とは、診断時からの5年相対生存率です。相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数値です。出典：全がん協加盟施設における5年生存率(2010~2012年診断例)